

橋と丘

No. 52

2013年



神戸市外国語大学同窓会



平成25年度総会（2013年6月2日 於：ANAクラウンプラザホテル神戸）



挨拶される木村榮一会長

総会後の懇親会で挨拶される各支部代表



岡山支部
三川 克己 氏



東海支部
近藤 馨 氏



関東支部
林 昌二郎 氏



神戸市役所支部
河井 正和 氏



福岡支部
秋吉 晃 氏



広島支部
俵 博 氏



楠露会
山田 昌一 氏



兵庫県庁支部
藤井 英映 氏

2012年度卒業記念パーティー、伸興会・楠ヶ丘会共催
(2013年3月25日 於：シーサイドホテル舞子ビラ神戸)



ウィメンズくらぶ 第16回講演会&交流会
(2012年10月28日 於：三木記念会館)



前列左から二人目が講師の八隅美佐子さん(学35EB)



総会後の懇親会で景品が当たりました

同窓会・同期会・クラス会だより

外大第1回／専2回卒業生同期会

中田 章(学1EA)

外大第1回／専2回卒業生の60周年記念同期会を平成24年11月29日に神戸のCrown Plaza Hotelで開きました。学部33名、専門部42名に案内を出しましたが出席者は11名でした。
(卒業時173名)

我々は30周年、35周年、40周年、45周年、50周年、55周年と5年毎に開催してきましたが、年々参加者も減り最後の同期会は少し寂しい会になりました。しかし皆さん懐かしい青春時代に若返り旧交を温めました。



平成24年11月29日

最後に、健康に気を付けて、何時までも元気に人生を全うすることを誓い、散会しました。

外大1回生の60周年記念同期会を昨年11月29日に開催しましたが、東京では是非開催しようとして今年4月23日に左記の要領で開きました。

日 時：平成25年4月23日(火) 正午～15時
場 所：帝国ホテル内 北京(中国料理)
出席者：写真左から後

列より

森田安宏
宮本和郎
清水克治
中田章
大城戸裕
福良照雄
小野和正
福井信利
藪中昭
阿部信造



平成25年4月23日

学3C同期会・最終回

尾寄 昇(学3C)

平成25年5月16日、友田元成幹事のお世話で第20回目の同期会を神戸・三宮センタープラザの中華料理店“東天紅”で開催した。

同期全員が80才を越し、夫々体調不安などで出掛けるのが難しくなるのか、前回参集者が6名と減って来たこともあるので、定期的な会は今回で最終にしよう。と其旨連絡の所、大勢の出席があり、御挨拶もそこそこ。に近況や学生時代の思い出話し等々、食事をしながら賑やかな楽しい会合となった。

出席者は、金沢から介添に夫人・ご息女同伴の伊藤直昭兄、四国・八幡浜から林宏一兄、東京から桜井潤一兄、姫路から病後を押し出席の上野孝造兄、奈良から泉原勝、北窓寛治両兄、京阪神住の森田勝叔、香山寿幸、友田元成の各兄及び尾寄昇の計12名。

欠席の大橋佳代、久米政也、斎藤健、中倉昭能、福井清治の各兄は遠出は出来ないが、在宅元気に過している由、返信葉書が来ている。

この会は平成6年に始まり、途中平成7年の阪神淡

路大震災、平成21年の巨大台風神戸直撃予報での中止を除いて毎年開催。20年間続いたことになる。定期的に関く同期会は今回で最終とするが、機会があれば随時随所で都合のつく者達が集り、親交と情報共有をと話しあい、又友田幹事の永年の労苦を謝して散会した。尚添付の写真は香山寿幸兄撮影。



於 東天紅

後列左から 伊藤夫人、尾寄、上野、泉原、友田、伊藤息女、香山
前列左から 伊藤、桜井、森田、林、北窓

神卓会60周年記念総会開催

若園 誠（学17EB・神卓会幹事長）

神卓会は卓球部のOB、OGを会員とする組織で、会員相互の親睦と現役卓球部員の活動の支援とを目的としています。

本会は、第1回卒業の真鍋 卓也氏（故人）が発足され、昨年60周年を迎え記念総会を10月20日（土）に神戸北野坂のホテル北野プラザ六甲荘にて開催しました。東京、九州など遠方からの参加者も含め34名の方々が集まりました。

懐かしい白黒写真をプロジェクターで投影しながら想い出話を中心に盛大に楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

「楽しかった！ 若返った！ 元気が出た！」と帰りに皆様に声をかけてもらい本当に嬉しかったです。

現在会員数は約160名、毎年10月に定例の年次総会を開催しています。

（今年は10月19日に開催予定、会場は大阪・梅田のスイパードライ梅田を予定）

卓球部に少しでも関わりのあった方はどなたでも歓迎

迎します。

特に学園
都市学舎で
卒業の若い
方の参加を
希望してい
ます。



テニス部創部60周年記念パーティ

坂口 卓明（学20P・テニス部OB会会長）

平成24年11月17日（土）三木記念会館にて、神戸外大テニス部創部60周年記念パーティを開催しました。悪天候にも拘らず、海外・関東など多方面より76名のOB OG、顧問の村田先生、職員OB、そして現役が参加しました。

かつての顧問先生など15名の物故者への黙祷の後、会長挨拶、創部者のお一人である三村先輩（3回生）の乾杯でパーティが始まりました。会の中盤では「60年間のクラブ史スライドショー」が上映され、全員が食い入るように若かりし頃の勇姿を懐かしく鑑賞しました。80歳を超えてもテニスを楽しんでおられる先輩から、現役諸君まで、各世代の出席者が「神戸外大テニス部の絆」で賑やかに盛り上がり、最後に全員揃ったの記念撮影で閉幕となりました。

パーティはテニス部60年史「メッセージで綴る60年の歩み“2nd Set Love All”」の発刊記念も兼ねました。“2nd Set Love All”とは、テニスで第2セットが始まるときに審判がコールする言葉です。Love All

は“共にゼロで再スタート”を意味します。60年の「還暦」を迎えたOB達が人生の第2セットを始めるにあたっての挑戦意欲と、これからのテニス部を担う現役陣へのエールがここに込められています。今回連絡が取れたOB OGは260名ですが、各学年に亘り100名からの寄稿と、150名を超える方からの寄付金を戴きました。この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。



神戸市外国語大学テニス部 創部60周年記念パーティ
三木記念会館・平成24年11月17日（土）

目次

▽はじめに	楠ヶ丘会副会長 塚野 和男	4
▽就任の挨拶	楠ヶ丘会会長 木村 榮一	6
▽同窓会総会記念講演載録		
『人は 人によって 人になる』	……神戸市総合教育センター所長 林 弘伸(Ⅱ 24 ED)	8
▽楠ヶ丘会ニュース		
平成25年度楠ヶ丘会総会		17
パネルディスカッション		22
楠ヶ丘会役員名簿		27
楠ヶ丘会会則		28
平成24年度決算・平成25年度予算		30
留学レポート	国際関係学科4回生 勝野 智子	32
	英米学科Ⅱ部4回生 古形 鷹一	33
支部等の報告		
関東支部		34
東海支部		36
岡山支部		38
広島支部		41
福岡支部		42
神戸市役所支部		43
兵庫県庁支部		45
ニューヨーク支部		45
北京支部		47
上海支部		49
楠露会		50
英鵬会		51
イスパニア会		52
ウイメンズくらぶ		53
関東ウイメンズくらぶ		55
同窓会・同期会・クラス会だより		
外大第1回/専2回卒業生同期会		58
学3C同期会・最終回		59
学6ECクラス会		60
卒業50周年 37会関東地域同期会		61
学部11Pクラス会		62
学15EB同窓会		63
2012年の学15Cクラス会		64
学15H同窓会		66
学21P 第4回クラス会		67
学部24回学年同窓会		68
学26Pクラス会		69
神卓会60周年記念総会開催		70
テニス部創部60周年記念パーティ		71
▽特集『私と教職』		
38年間の教師生活を終えて	関 省子(学23 EB)	74
名古屋大学での教員生活	中野 弘三(学10 EA)	77
我が教職時代を顧みれば	山口 恵子(学11 EC)	80
LABOUR OF LOVE	佐野 弘(学8 EA)	82

教職を終えて、

今感じる女性の人生キャリア構築 ……曾我 邦子(学10 EA)

私と教職…学校協力員として ……赤坂美智子(学20 EA)

私の微々教職体験 ……亀井 康瑛(学7 EB)

グローバル時代をたくましく、
しなやかに生き抜く人材育成 ……中嶋 圭介(学49 E)

▽楠ヶ丘さろん

アメリカの会社員、その豊かな家庭生活 ……神戸 譲(専2 EB)

喜寿は危寿なり ……大塚 裕悟(修2 E)

外専第1期生の記憶 ……古川 欽三(専1 C)

鬼籍入りを前にして ……小牟田健三郎(II 11 EC)

雑談 外国語 ……林 久雄(学7 C)

“Emirates” 航空機と “日本海” ……河島 公夫(学6 EA)

坂本先生のエピソード ……小島 正喜(外専3 C)

ピースボート世界一周の船旅(1) ……中西 勲(II 46 E)

サンティアゴ巡礼路を歩く ……杉本 嘉孝(学10 EB)

卒業後40年間の怒涛の人生…豪州人になってしまった話 ……ジョン中園(II 19 EC)

元添乗員がお客になって覗いてみた中国(その2) ……松尾 昭雄(学15 C)

北海道「上沢木」小学校訪問記 ……河上 弘(学15 EB)

国際語エスペラント ……須藤 淳(学4 EC)

中国語として解する魏志倭人伝(序) ……大野 則一(学17 C)

134

132

128

125

122

119

116

113

111

108

文学同人誌『タクラマカン』50号刊行

寺内 邦夫(学2 P) 136

▽私のとっておきの一枚

中国での体験 ……都谷 元亮(学8 EB) 138

▽新入会員です。よろしく!!

陰野 礼子(学62 E) 140

向井 佑貴(学62 K) 141

▽一筆啓上

▽(川柳) ……豊永 利宗(学16 H) 87

(油絵) ……中尾 和夫(II 4 EC) 95

(スケッチ画) ……山下 道人(学10 EA) 139

表紙のことは ……千代田利行(学9 P) 201

カット絵のことは ……中田 康子(学21 EC) 201

▽外大ニュースより

▽神戸市外国語大学校歌 …… 182

▽お知らせ

ウイメンズくらぶ第17回講演会&交流会のお知らせ …… 184

楠露会 …… 185

外大バスケットボール部OBG会 …… 186

▽追悼

ハワード・ウイルソン先生を偲ぶ ……須藤 淳(学4 EC) 188

▽計報

▽会員著作図書紹介 …… 190

▽前号(51号)へのご意見、ご感想などの紹介 …… 194

▽第53号へのご投稿のお願い …… 196

▽協賛広告一覧 …… 197

▽編集後記 …… 202

私のやっつておきの一枚

中国での体験

都谷元亮（学8EB）

後に「世界の工場」と称されるようになった中国・工業地帯の一つ、香港と広州（広東省）の間に位置する東莞にてプロジェクト・マネージャーとして1985年から2年間滞在した。これは旺盛な電力需要に対応するため、高圧ケーブルを川底に敷設するプロジェクトであった。

大型台船2艘を川に係留し、二段ベッドを入れたコンテナを宿泊施設とし、機械設備やプレハブの事務所、食堂、風呂、トイレ、貯水タンク等も設置した。

この川（珠江）は中国でも有数の大河で流れが激しく、24時間揺れ動く中で日本人・香港人（中国返還前）

・中国人が共同生活を送った。職種は電気技術者、土木エンジニア、測量士、潜水夫、鳶職、調理人と多岐にわたり、事務系は小生のみで手漕ぎの小舟で対岸まで渡って食材調達をするのも小生の職務の一つであった。

数年前に現地を再訪したが、当時は畑しかなかった土地にマンションや商業ビルが林立し、高速道路が通じるなど状況は一変していた。



筆者は前から2列目右端（つなぎ姿）



山下 道人 (学10EA)

兵庫県の佐用町北部にある平福地区の歴史は古く室町時代に遡り、江戸時代には水運で賑わい、因幡街道最大の宿場町であった。

今も旧街道沿いにある古い家並みが往時の面影を残し、冬だったが、かなりの観光客の姿があった。

< 楠ヶ丘会館利用のご案内 >

同期会、クラス会、サークルの集まりに和室、会議室をご利用ください。

問い合わせは楠ヶ丘会事務局へ

新入会員です。よろしく!!

陰野 礼子 (学62E)

2013年3月に英米学科を卒業し、現在は外資系銀行で住宅ローンの審査業務を行っています。「世界中どこに行ってもロゴを見かけるような企業で働くこと」が夢だったこと、お金の流れが分かれば世界の流れが分かるはず、と考えたので入行を決めました。神戸市外国語大学での4年間は色々なことに挑戦し、素晴らしい出逢いにも恵まれた日々でした。アメリカへの交換留学中に、国際経営学や人材マネジメントを学んだことをきっかけに、グローバル企業で働きたいという気持ちは一層強くなりました。国外でビジネスをすることの利点と難しさを少しでも知識として持っていたことは、入社してから少しは役立っているかなと思います。

また、留学中は10ヶ月と期間が限られていたので、時間を無駄にできない!という気持ちから、とにかく

積極的に動いていました。その中で、「自分で考え、動き、学ぶ」という姿勢を学んだように思います。新人のため自分だけではどうにもできないことも多いですが、まず自分で考え、何に困っていて、どう助けてほしいのか、または何を教えてほしいのかを明確に伝える力の大切さを日々感じています。わからないことはすぐに質問しますが、全部がわからないという聞き方をすると忙しい先輩方も困ると思うので、まず考え、そして自分から聞く姿勢を意識しています。

社会人になってから日が浅いですが、知らないことがたくさんあるということを本当によく感じます。金融はほとんど今まで勉強したことがなく、専門用語に戸惑う事も多いですが、日々勉強を重ねていくことで専門性を磨いていきたいと思っています。英語に関しても、大学生として使う英語とビジネス英語はやはり違うので、社会人にふさわしい英語を身につけたいです。神戸外大卒業生らしく、グローバルで活躍できる人材になりたいと思います。

向井 祐 貴 (学62K)

私は今年の4月から地元の県庁の保健予防課というところで働いております。私の仕事の内容としては、妊婦健診や妊娠判定の補助金交付、また新生児の先天性の病気の検査の委託および支払などを担当しています。保健師の職員の多い中で、行政職員の私は主に法律やお金に関する業務を担当しています。地方公務員だと英語力が活かせないのでは、と思われるかもしれませんが、それは確かにその通りだと思います。しかし、行政を取り巻く状況は変わりつつありますし、自分の知識や能力を活かす機会を積極的に見つける努力が必要です。

地方自治体の仕事の中で英語が活かせる場面は、今は限られています。しかし外国人労働者の増加等、国際化の影響は地方にも及んでおり、英語力の需要は高まっています。また英語ができる人は現状多くないため、英語ができる「だけ」で大きなアドバンテージになると思います。

英語以外でも、ゼミや授業で学んだ知識を役立てることができたケースがあります。例えばオーバーステイ中に妊娠した外国人に母子手帳を交付すべきか、と

いう事例。税金を使って、仮にも「不法に」滞在する外国人に手帳を交付すべきか、それとも人道的な観点から手帳を交付すべきか。このようなケースに適切に対応するには、行政の知識だけではなく、移民・人権に関する知識や感覚も必要になります。

2年生の夏にアメリカに短期留学した際に、人が動くのを待つのではなく自主的に行動する必要性を強く感じました。私はよく上司や先輩に質問し、可能な範囲で新しいことにも取り組んでいるため、上司から積極的だと言っていたいています。もちろん英語や他の外国語を使う機会があれば素晴らしいですが、それ以外に自分の知識や能力を活かす機会は数多くあると思います。

将来の目標ですが、未定の部分が多いです。ただ、ここでの仕事は最初のステップと見ています。近い将来には、上記のような移民と福祉・公的サービスの関係について勉強／研究したいと思っています。その際に法律や財政など、行政で得た知識や経験を活かすことができればと考えています。